

No. 306【2018年5月18日配信】

明治百年記念事業の一環で整備された青森県立郷土館 (担当:村上)

こんにちは。嘱託員の村上です。

今日5月18日は「国際博物館の日」です。

「国際博物館の日」は博物館が社会に果たす役割を広く普及啓発することを目的として、昭和52年(1977)、ICOM(国際博物館会議)によって制定されたものです。世界中の博物館では「国際博物館の日」に合わせてさまざまな記念行事が行われます。青森市内の博物館では青森県立郷土館が5月26・27日に無料開館や館内特別案内などの記念行事を行うそうです。

そこで、今回は青森県立郷土館のあゆみについてお話ししたいと思います。

郷土館は昭和43年10月、竹内俊吉知事が県の「明治百年記念事業審議会」の答申を受けて建設を決定した総合博物館で、昭和48年9月に開館しました。今年は明治150年関連のイベントが全国各地で行われていますが、郷土館は明治100年の記念事業の一環で整備された施設でした。

当初の建設予定地は県立図書館東側の県有地(現在の県庁北棟の一部)でしたが、敷地が狭く駐車場の設置が難しいことや、隣接する図書館の採光をさまたげるなどの理由から、現在の場所(旧青森銀行本店)へと変更されました。現在、郷土館正面玄関の左側にある「旧館」が青森銀行本店として使われていた建物です。

旧青森銀行本店は昭和6年に第五十九銀行青森支店として建設され、昭和18年に県内の銀行5行が合併して青森銀行となつてからは青森銀行本店として利用されてきました。設計者の堀江幸治は弘前市の旧第五十九銀行本店本館(青森銀行記念館)を設計した堀江佐吉の七男です。

旧青森銀行本店は昭和45年、新しい本店(橋本一丁目)の完成に伴い県へ寄贈されました。堅牢な建物だったため、改装して郷土館の一部とすることになり、かつての営業フロアは企画展の会場として使用される特別展示室(大ホール)となりました。



青森県立郷土館

さて、郷土館は昨年、開館以来はじめてとなる収蔵庫の大規模改修工事を行い、先月1日に営業を再開しました。5月25日からは改修工事中の収蔵庫整理により再発見された資料を紹介する企画展「新収蔵×再発見 2018」も始まります。この機会に郷土館へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

※今回の内容は『青森県立郷土館 30年のあゆみ』(2003年 青森県立郷土館)などを参考にしました。